



本日の授業参観・保護者会、PTA 総会では、お忙しい中、多くの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。

さて、明日からゴールデンウィークが始まります。この連休中の過ごし方については、各担任から生徒に指導しておりますが、有意義な連休となるよう、ご家庭でもご指導をお願いします。

また、新年度の疲れが蓄積されてくる時期でもあります。運動部活動の春季大会も控えておりますが、休養は十分にとり、連休明けの学校生活につなげたいと考えております。

◇4月28日は開校記念日

本日4月28日は本校の開校記念日です。本校は昭和22年（1947年）4月、学制改革により、当時の田沼小学校・田沼裁縫実践女学校の一部を借用して、「田沼町立田沼中学校」として開校しました。そして2年後、現在の場所を校地とし、木造平屋の校舎が建てられました。



昭和29年春の旧第一校舎
「群竹」名づけの旧職員 植木亀造先生画

その後、「田沼町立西中学校」の開校に伴い、昭和45年4月1日に「田沼町立東中学校」と校名が変更され、さらに、市町合併により、現在の「佐野市立田沼東中学校」へと校名が変更されました。

さて、開校記念日からは少し期日が過ぎてしまいましたが、記念行事として写生会を5月2日（月）に実施します。1年生は本校の校庭、2年生は一瓶塚稲荷神社・西林寺、3年生は国指定史跡である唐沢山(史跡は唐沢山城跡)を写生会場として実施します。

これらの行事を通して、学校や地域よさを認識し、歴史や自然の素晴らしさを実感してほしいと考えております。さらには、ふるさとを愛し、持続可能な社会の創り手としての生徒たちの成長を期待します。



石垣整備の進む唐沢山城跡本丸

◇避難訓練

4月22日(金)6校時に避難訓練を実施しました。今回は地震及び火災発生を想定した避難訓練で、第1の目的は避難経路の確認でした。また、避難方法、避難場所、集合の仕方なども確認しました。



今年度初めての避難訓練でしたが、生徒たちは冷静に緊張感をもって避難することができました。

ところで、本校は、昭和52年(1977年)1月26日未明に火災が発生し、当時の木造校舎の半分を焼失してしまいました。

幸い人的被害はありませんでしたが、当時西中(田沼町立西中学校、現あそ野学園義務教育学校)の2年生だった私(校長)は、「高校入試を控えた3年生の学習は大丈夫か、入試関係の書類は燃えたりしていないか」と心配したことを記憶しております。

なお、大切な書類は耐火書庫に保管されていたため、入試関係の手続きに支障はなかったとのことでした。

※当時の「広報たぬま」から関連記事

東中学校火災とその対策について

去る一月二十六日午前三時三十八分頃、東中学校公仕室附近から出火し、管理、教室棟外附属建物二棟を焼失するという事態を生じましたことは、誠に遺憾であり、心からお詫び申し上げます。

幸いにして、消防関係者をはじめ隣接市町及び町民各位の懸命な御努力と御支援により被害を最少限にとめることができました。町では、応急対策樹立のため緊急に教育委員会及び議会議員全員協議会を開き、この対策について協議をした結果一月二十

六日(当日)一日を休校させたのみで授業を再開いたすことができました。当面の応急処置としてプレハブ九教室を建築し、机、いす等については速やかに補充し、急場をしのごとくいたしました。耐火書庫の重要書類等が焼失を免がれたため、入試関係書類の作成に支障がなかったことは、不幸中の幸いでありました。

町としても、今後焼失校舎に対する恒久的施設整備について検討中であり、生徒各位も気を落すことなく、鋭意勉学に努力されるようお願いいたします。

東中・新校舎が完成

昨年の六月から建設を進めていた、東中学校がこのほど完成しました。

その概要は、鉄筋コンクリート造二階建てで、普通教室、音楽室、美術室、特殊教室職員室などです。

総工費は、二億八千五百万円を要していますが、国庫補助金として、約八千二百六十万円の補助金が交付されています。

▲ 新しくなった東中学校

[左] 昭和52年2月1日号
火災発生についての記事

[右] 昭和54年3月15日号
新校舎(現北校舎)完成記事

「広報たぬま」の記事のとおり、火災の後、当面の応急措置としてプレハブ教室が建設されました。そして昭和54年2月には焼失校舎跡に鉄筋2階建校舎(現北校舎)が完成しました。その後、昭和62年3月に現在の南校舎が完成し、現在に至っています。